

新人事評価制度

2007.3.29(木),2007.4.6(金)付けあゆみ速報で処遇への反映についての機構案で数値の記載ミスがありました。労組の転記ミスです。

業績評価に関する処遇への反映 機構提案(交渉中のものであり、変更もありえます)

下の表で、標準は40点、最高70点です。

6級、7級(課長、主幹、課長代理、副主幹など)

処遇区分		S	A	B	C 36点未満	D 26点未満
期末	支給率 (分布)	1.20倍 (数%)	1.10倍 (約25%)	1.00倍 (約70%)	0.90倍 絶対数	0.80倍 絶対数
昇給	昇給号 (分布)	5号昇給 (数%)	4号昇給 (約95%)		3号昇給 絶対数	2号昇給 絶対数

1から5級(一般職から係長など)

処遇区分		S	A	B	C 36点未満	D 26点未満
期末	支給率 (分布)	1.10倍 (数%)	1.05倍 (約25%) (約15%)	1.00倍 (約70%) (約80%)	0.95倍 絶対数	0.90倍 絶対数
昇給	昇給号 (分布)	5号昇給 (数%)	4号昇給 (約95%)		3号昇給 絶対数	

4月11日、4月16日と新人事評価制度に関する拡大窓口交渉が行なわれました。

評価の方法、処遇への反映法をめぐって、労使間の話し合いが進められています。右上の要領で学習討論会を行います。大勢の参加を期待します。

明日(4月20日)団体交渉

春闘要求、給与構造見直しの決着、新人事評価制度などについて議論します

新人事評価制度では、非公式ながら処遇への反映について機構の案が出た状況で労組の人事評価制度についての考え、機構と考えの違いなど、委員長及び労務担当理事の出席する場で整理します。ご注目ください。

新人事評価制度：学習討論会

日時： 2007年4月24日(火) 18:30

場所： 原子力科学研究所内、研究1棟1F第5会議室

内容： 労組執行委員長挨拶

報告 新人事制度、機構の提案と問題点

背景：(成果主義など)

旧2法人の人事評価制度とその運用

交渉状況、機構提案の概略と問題点、労組の考え

参加者討論 60分くらい

閉会挨拶

どなたの参加も歓迎します。参加予定数把握のため、組合事務所に電子メールなどで連絡いただくと助かります。

改憲手続き法案(国民投票法案)衆議院で強行採決される

4月13日の衆議院本会議で、自民党及び公明党は、野党の反対を押し切って強行採決しました。現在同法案は参議院で審議されています。執行委員会は4月12日の特殊法人労連の中央行動で争議支援・財務省示威行動とあわせ、この法案に反対する国会周辺座り込み行動などに2名を派遣しました。

<< 勤務時間管理について >>

機構から勤務時間管理に関連して3つの話がありました。

1、超過勤務手当の不払い分の支払い

昨年超過勤務手当が払われていない超過勤務があったかどうかの調査が行われましたが、結果がまとまり確認もされたので4月の給与で支払う。

2、出勤簿等による勤務管理のシステム化について

法令によれば、使用者は超過勤務手当を払う払わないにかかわらず、労働者の勤務時間を把握しなければならないことになっています。労働基準監督署から職員の勤務時間を把握する手立てを講ずるよう強く言われているようで、機構は、これまでのやり方はきちんと管理できないと思ったのか、表記のことを進めるといってきました。具体的な内容は示されていませんが、パソコンの電源の入り/切りを参考時刻として所属長が把握できるようにすること、出勤簿、勤務票、時間外勤務命令などの帳票を用いた勤務管理の省力化を図るといっています。平成19年12月に本部などのほかモデル職場で実施、平成20年4月には全拠点で実施したいとしています。

3、超過勤務時間管理のガイドラインを設定

運営管理部門、事業推進部門：22 時間/月、研究開発部門、研究開発拠点：12 時間/月のガイドラインを設け、部門ごとにそれを超える場合には理由の報告を求めるというものです。ガイドラインの数値は平成 18 年度の実績の平均がそれぞれ 22.8 時間/月、12.7 時間/月であったことを考慮して決めたそうです。

1 については職員が納得するものであれば問題はありません。いまさら、協定違反をとやかく言いません。しかし、2, 3 には問題があります。

a) PC の立ち上げ/停止が仕事の始まり/終わりとは一致しない人・場合は多い。居室を離れ原子炉や加速器施設で実験やその準備をしている場合は長い超過勤務になる典型的なケースである。しかし居室の PC に触らないので管理できない。

時間外勤務とは考えず、自己啓発として勉強したり、調べごとをしている時間をどのように考えるのか明確でないと、混乱を招く恐れがある。

省エネルギーやセキュリティーの観点では、使っていない PC はこまめに電源を切れとよく言われるが、それと矛盾することになるおそれがある。

b) グロービアの悲惨なありさまを見ると、このシステムは二の舞になる心配がある。

c) 人手不足、無駄な書類・仕事の蔓延に実行ある対策をとれずにいるのに、雑な調査の実績平均時間からガイドラインを設定することに無理がある。

労組は、交渉窓口で以上の点を指摘。「また不払い問題が起きることではないか」と警告しました。

現状では、どのようなものをつくり、どのように運用するのかわかりません。機構の意図がどこにあるにせよ、職場に混乱を招くことが大いに危惧されます。

労働者の祭典、メーデーに参加しましょう

<< 茨城中央メーデー >>

メーデー5月1日(火) 水戸市、千波公園内、はなみずき広場

10:00 開会

各団体要求アピールな

11:00 デモ出発(会場->水戸市役所周辺->会場)

12:00 昼食・交流会(交流企画、お楽しみ抽選会などあり)

13:30 閉会

原研労組も参加します。組合員、OB、組合員家族には昼食費を補助します。

原研労組の旗に集合してください。

<< 2007 年 憲法フェスティバル茨城 >>

5月3日(木)憲法記念日 11:30 開場 千波公園、はなみずき広場

憲法の意義を再確認し、平和憲法を守る力にしましょう。

平和憲法を守ろうとする茨城県内の諸団体が大集合します。模擬店
原研労組も賛同団体として参加します。

【特殊法人労連 公開講座】

企業の不祥事問題が頻発する中で、電力会社の事故「隠し」ほど国民のいのちと暮らしを脅かす大問題はありません。誰が国民の安全に責任を持つべきか、そのことに原子力の研究はどうかかわるべきか、原子力研究の現場から発言します。

参議院選挙目当てと揶揄される「新入材バンク」法案。組合結成以来「天下り反対」を掲げる特殊法人労連の堤・前事務局長が「公務員制度改革と新入材バンク」の裏を探ります。

特殊法人労連は99年の東海村の臨界事故ではシンポを開き、04年・05年に「天下り禁止の提言」を発表するなど、2つの問題には先駆的な運動をすすめてきました。自分たちに直接かかわる「原発事故隠し」と「天下り」、これまでの運動をふまえて、大いなる批判精神をもって「公開講座」を開きます。多くの方のご参加を期待します。

1 「原発事故隠し問題

~自主・民主・公開の徹底を~

岩井 孝 原研労委員長/特殊法人労連議長

2 「天下り・新入材バンクは利権のにおい

~天下り野放し法案を許すな~

堤 和馬 ジャーナリスト/前特殊法人労連事務局長

と き 5月9日(水) 14時~16時45分

ところ 全労連会館2階(東京・お茶の水駅徒歩7分)

参加費 無料

原研労組の参加希望者は、労組に申告してください。交通費を支給します。